

図書館を対象としたSSO に関する アンケート調査結果について

国立情報学研究所 学術基盤推進部学術コンテンツ課
阿蘇品 治夫 asoshina@nii.ac.jp

内容

- ▶ 図書館向けアンケート調査結果について
- ▶ 電子ジャーナルベンダ向けアンケート調査について
- ▶ まとめ



図書館向けアンケート調査結果について (EJのオフキャンパス利用実態)

- ▶ EJのオフキャンパス利用(Q1-1)
 - ▶ おおむね可能。なかには認めない大学もある。
- ▶ リモートIDによる利用(Q1-3)
 - ▶ ベンダに限られる。(Elsevier、Wiley、Springer、CiNii など)
 - ▶ IDの発行管理等の負荷が大きい。
- ▶ VPNによる利用(Q1-4)
 - ▶ 多くのベンダで利用可。
 - ▶ 設定方法等の問い合わせは図書館では対応困難。
- ▶ EZProxyによる利用(Q1-5)
 - ▶ 多くのベンダで利用可。
 - ▶ アクセス設定等の作業負担が大きい。



図書館向けアンケート調査結果について (EJのオフキャンパス利用実態)

- ▶ オフキャンパス利用の問題点(Q1-6 ほか)
 - ▶ リモートID発行を認めるかどうか悩むケース
 - ▶ 常勤以外の教職員など。
 - ▶ VPN利用可能者とベンダが認めるEJ利用者の不一致
 - ▶ 前者は狭く、後者は緩い。
 - ▶ アカウント漏えい
 - ▶ なりすまし、大量ダウンロード等の懸念。
 - ▶ ベンダのポリシー情報収集
 - ▶ 学外利用のポリシーを表明していないベンダも多い。



図書館向けアンケート調査結果について (図書館の利用者IDについて)

- ▶ 図書館の利用者IDとして使う情報(Q2-1)
 - ▶ 学内共通IDを使う。
 - ▶ 学籍番号、職員番号に準じて図書館が作る。
 - ▶ 番号がない場合は、専用IDを図書館が発行。
- ▶ 情報の取得方法(Q2-2)
 - ▶ 何らかの形で管理部署から一括提供を受けている。



図書館向けアンケート調査結果について (Shibbolethへの期待)

- ▶ どのようなEJ等でShibbolethが使えると便利か(Q3-1)
 - ▶ 基本的に、全EJのShib対応が望まれている。
- ▶ EJ等以外でのSSOできると便利だと思うのも(Q3-2)
 - ▶ 各サービスで幾つものIDがあるので、一元化が望まれている。
 - ▶ DB リンクリゾルバ EJ
 - ▶ DB リンクリゾルバ OPAC、ILL



電子ジャーナルベンダ向けのアンケート調査

- ▶ 内容 : Shibbolethへの対応状況、実験参加への関心について
- ▶ 対象 : 16社
- ▶ 方法 : 国立大学図書館協会を通じ、ベンダ(日本法人経由)に照会。
- ▶ 状況 :
実験参加に前向きなベンダがある一方で、Shib対応の予定が全く無いベンダも。(調査締切11/30)



まとめ

- ▶ リモートIDやVPNにより、国内の主要大学ではEJオフキャンパス利用がおおむね可能だと察せられる。
 - ▶ しかし、学内でのEJ利用資格はあるのに、オフキャンパス利用が出来ないユーザ層の存在など、課題はある(例: VPN利用資格の無い学生、非常勤講師等)。
 - ▶ オフキャンパス利用の潜在的ニーズは高いと言われている。
 - ▶ 利用促進と図書館の負荷軽減につながるのであれば、Shib.対応はウェルカムである。
 - ▶ この実証実験の機会を逃すと、国内のEJ利用がShib.対応する機会は、永遠に来ないかもしれない。
-

